

編 集 後 記

今回は力作ぞろいの4件の論文と保団連医療研究フォーラムの抄録1件です。

安岡論文はIgG4関連疾患の、複雑な病態から治療までを簡潔明瞭にまとめた総説です。今後IgG4の上昇が自己免疫として組織障害を起こすのか、炎症性刺激に反応した結果であるのか解明が待たれます。

荒井論文はサルコペニアの歴史から現状、今後の課題までよくまとまっている総説です。高齢者の運動は低負荷でも反复し継続を、食事は3食均一な蛋白質を摂取しアミノ酸濃度を低下させない事の大切さを説いています。

佐藤論文、リエゾンロコモ予防はコロナ禍で外出不安と抑うつ、そして運動不足による肥満とロコモ、サルコペニアが増えている現状を打開するため多施設、多職種で取り組んだ整形外科医療の実践的な活動報告です。

小栗論文は「他科の先生にも知ってほしい鉄欠乏性貧血」のタイトル通り女性の鉄欠乏性貧血の主因である過多月経の原因と治療につき分かりやすく書かれた臨床経験です。

「こだま」では田島氏が16年間に長期に渡り800例以上の死体検案活動をまとめた貴重な活動報告を紹介しました。死因は病死、殺人死、事故死、自殺死、変死などに区分されますが、今回は風呂とトイレで死亡した人に絞って分析しています。

この「明日の臨床」は発行部数9000部、医中誌(日本医学中央雑誌)に登録され、全国の医科・歯科大学の図書館にも送付されます。会員の皆様から、原著・総説・症例報告・質問・意見など積極的な投稿をお待ちしています。

(編集委員 平井長年)

編 集 委 員 (50音順 *印委員長)

池 山 淳* 粥 川 裕 平

平 井 長 年 松 本 美 富 士 三 浦 義 孝

明日の臨床

Vol. 34 No. 1

2022年3月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎(052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

頒 価 1,000円・発行部数 7,000部